



# 2024年3月期 第3四半期 決算説明資料

株式会社リグア  
東証グロース (7090)

2024年2月

- 1. 決算概要 2024年3月期第3四半期**
2. IFMC.について
3. 市場環境
4. Appendix



# 決算ハイライト

(百万円)	売上高	EBITDA	営業利益	経常利益	当期純利益
2024/3期 3Q (10-12月)	1,008	182	144	139	148
前年比 (対前年3Q)	+38.4%	—	—	—	—
2024/3期 3Q累計 (4-12月)	2,615	230	111	85	75
前年比 (対前年3Q累計)	+33.1%	—	—	—	—

## 業績概要

- ウェルネス事業、ファイナンシャル事業の両セグメントで黒字化。
- 当3Qにおいては、四半期単位で過去最高となる売上と利益を計上。
- 子会社にて、顧客関連資産の譲渡により、30百万円の特別利益を計上。

# 連結損益計算書

- ・ 2Qまでの赤字を解消し、3Q累計数値で黒字に転換。
- ・ 売上高の増加に原価率の低下が相まって、利益項目が大きく改善。

(百万円)	2023/3期 3Q累計	2024/3期 3Q累計	増減額	増減率
売上高	1,965	2,615	+650	+33.1%
EBITDA	△281	230	+511	-
売上原価	1,100	1,170	+70	6.4%
原価率	56.0%	44.8%	△11.2pt	-
売上総利益	865	1,445	+580	+67.1%
販管費	1,328	1,333	+5	+0.4%
営業利益	△463	111	+574	-
営業利益率	△23.6%	4.3%	+27.8pt	-
経常利益	△476	85	+562	-
親会社株主に帰属する 当期純利益	△389	75	+464	-

## セグメント別実績

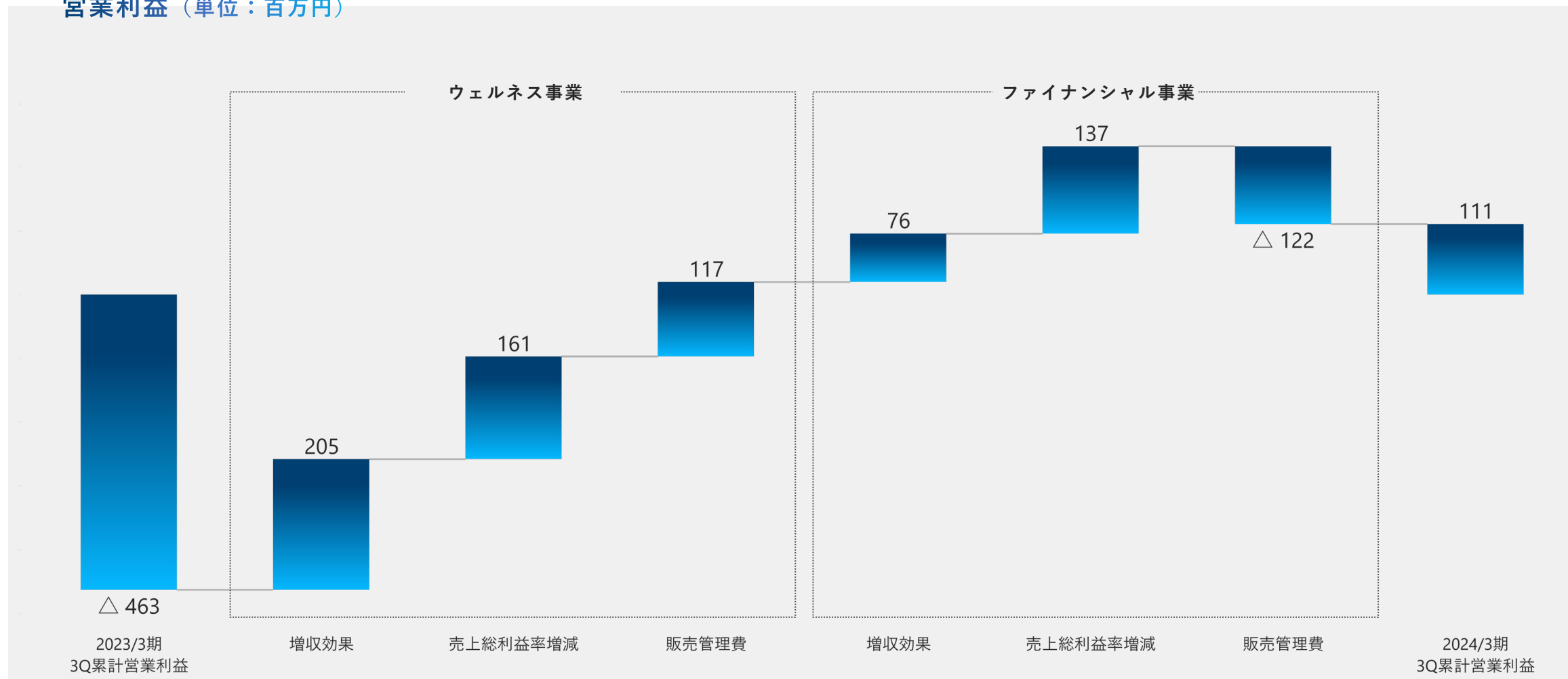
- ・ ウェルネス事業は、IFMC.製品（Dr.Supporter、My.Supporter）の販売が順調に推移。
- ・ ファイナンシャル事業は、当3Qで四半期単位で過去最高の売上高を記録し、黒字に転換。

(百万円)	2023/3期 3Q累計	2024/3期 3Q累計	増減額	増減率
売上高	1,965	2,615	+650	+33.1%
ウェルネス事業	1,403	1,831	+427	+30.5%
ファイナンシャル事業	561	784	+222	+39.6%
EBITDA	△281	230	+511	-
ウェルネス事業	△207	212	+419	-
ファイナンシャル事業	△74	18	+92	-
営業利益	△463	111	+574	-
ウェルネス事業	△386	97	+483	-
ファイナンシャル事業	△76	13	+90	-

# 営業利益 増減要因 / 前年同期比較

- ・ ウェルネス事業は、業績回復により各項目数値が改善。
- ・ ファイナンス事業は、1年9か月ぶりに増益に転換。

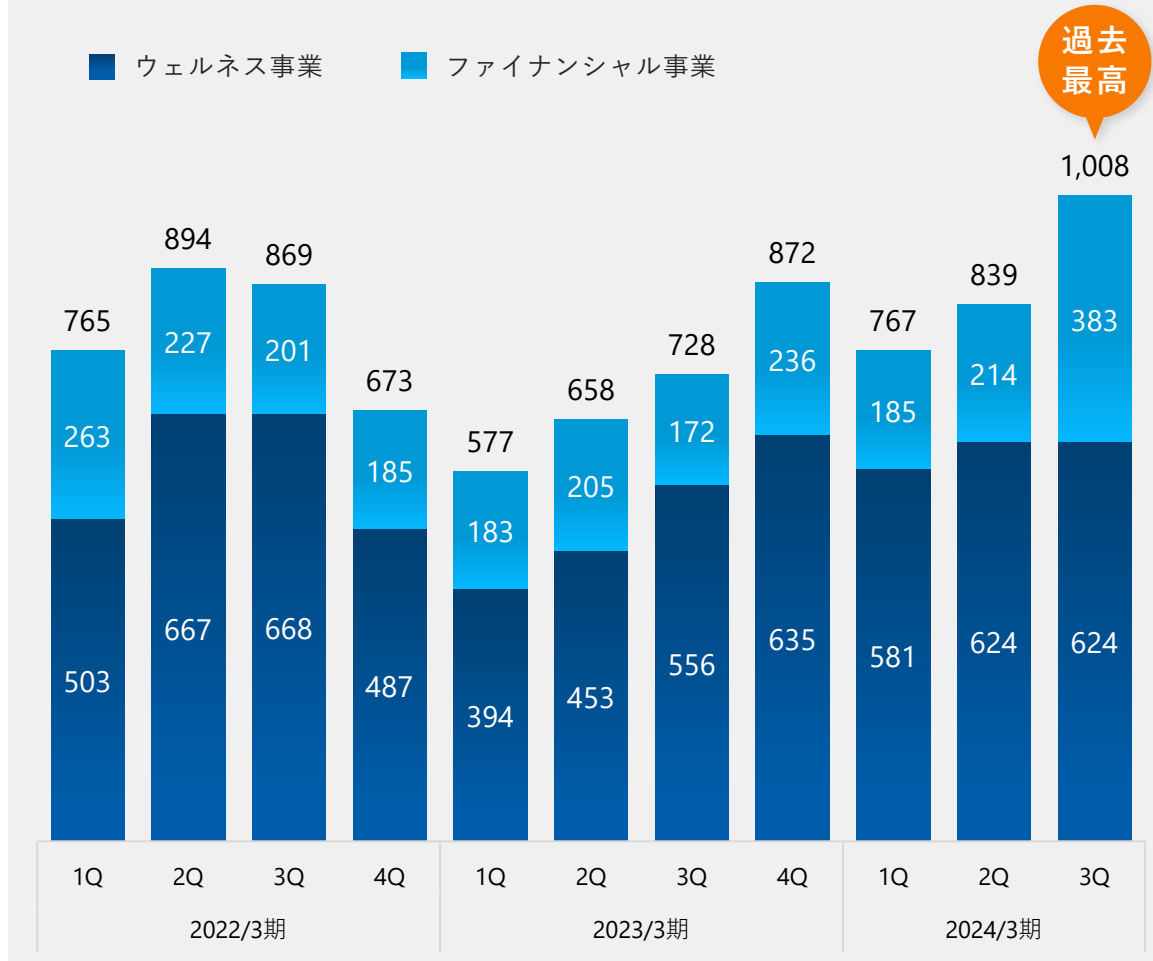
営業利益 (単位：百万円)



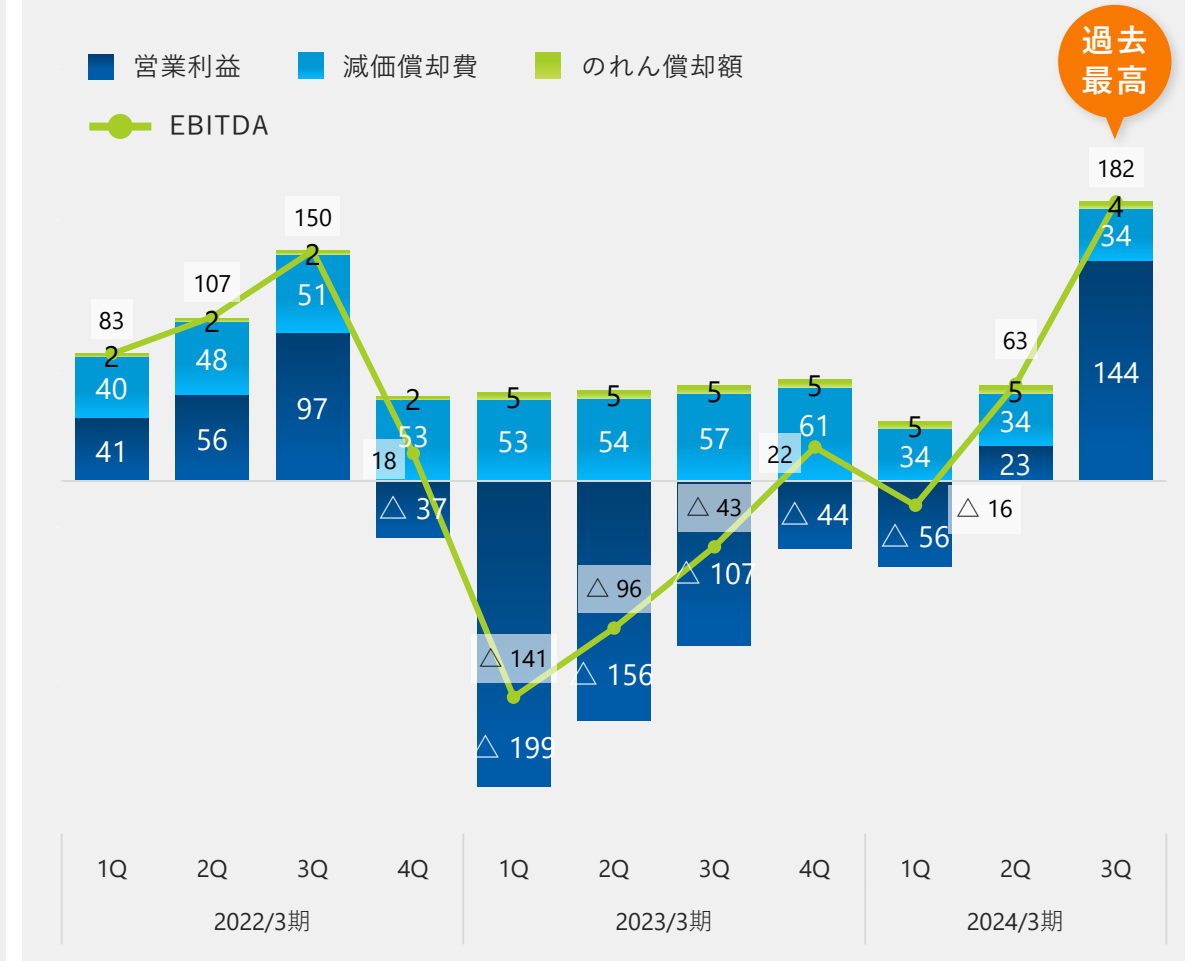
# 連結 四半期推移

- ・当3Qの連結業績は、四半期単位で過去最高の売上と利益を計上。
- ・ファイナンス事業が過去最高の売上となり、全体の業績を底上げ。

売上高（単位：百万円）



EBITDA（単位：百万円）

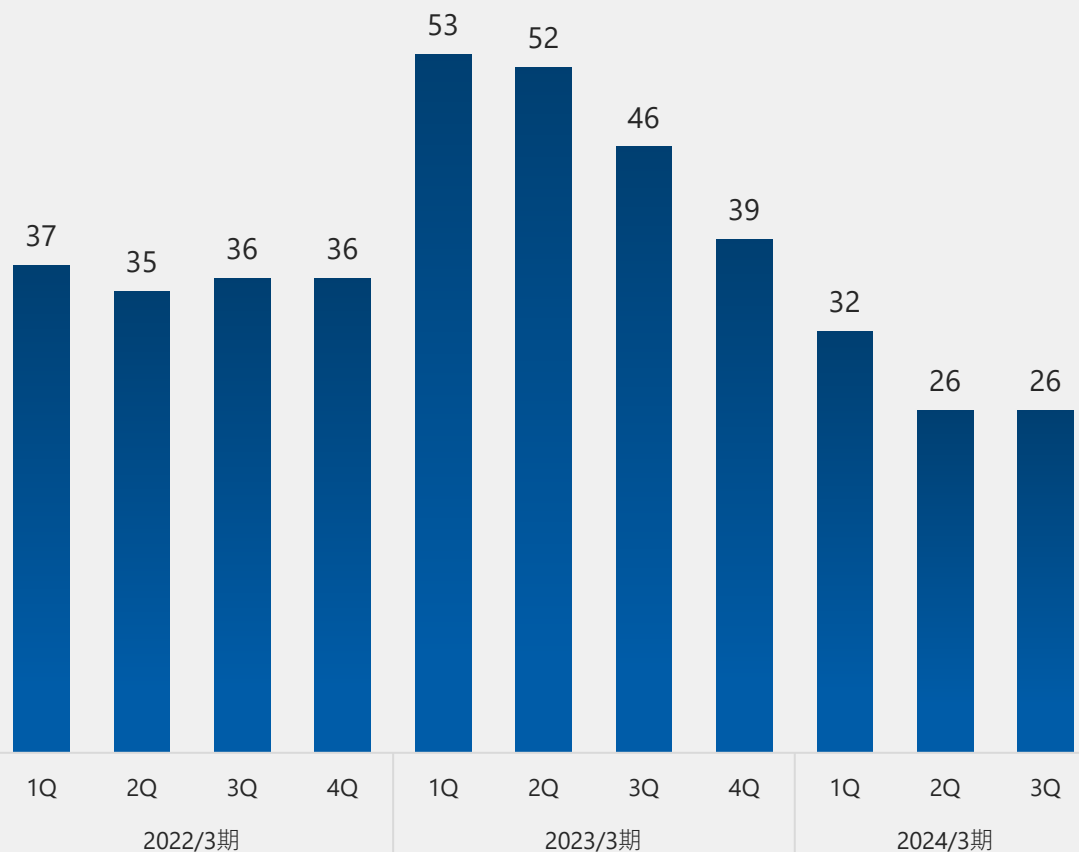


# 人員数 四半期推移

- ・ ウェルネス事業は、退職や社内異動により営業人員が減少、今後も引き続き営業人員の育成に注力。
- ・ ファイナンシャル事業は、新たな採用施策に取り組み、営業人員が増加。

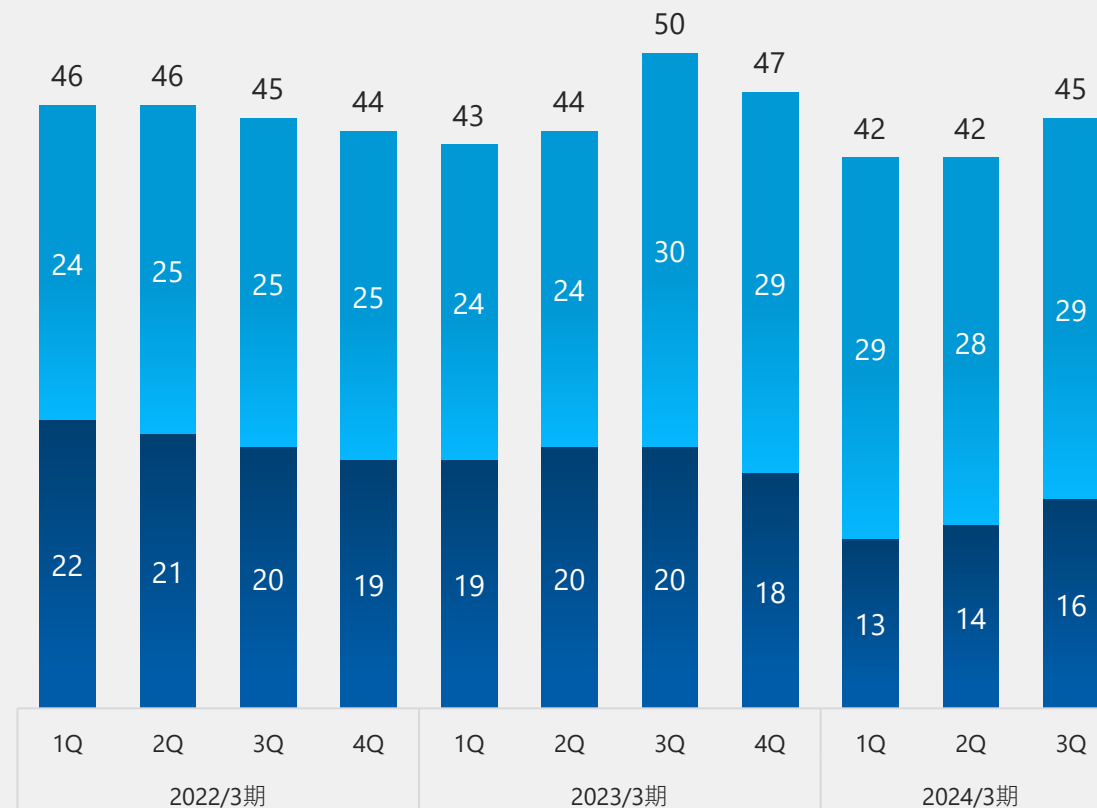
## ウェルネス事業（単位：人）

■ コンサルタント（営業人員）



## ファイナンシャル事業（単位：人）

■ IFA ■ 保険募集人



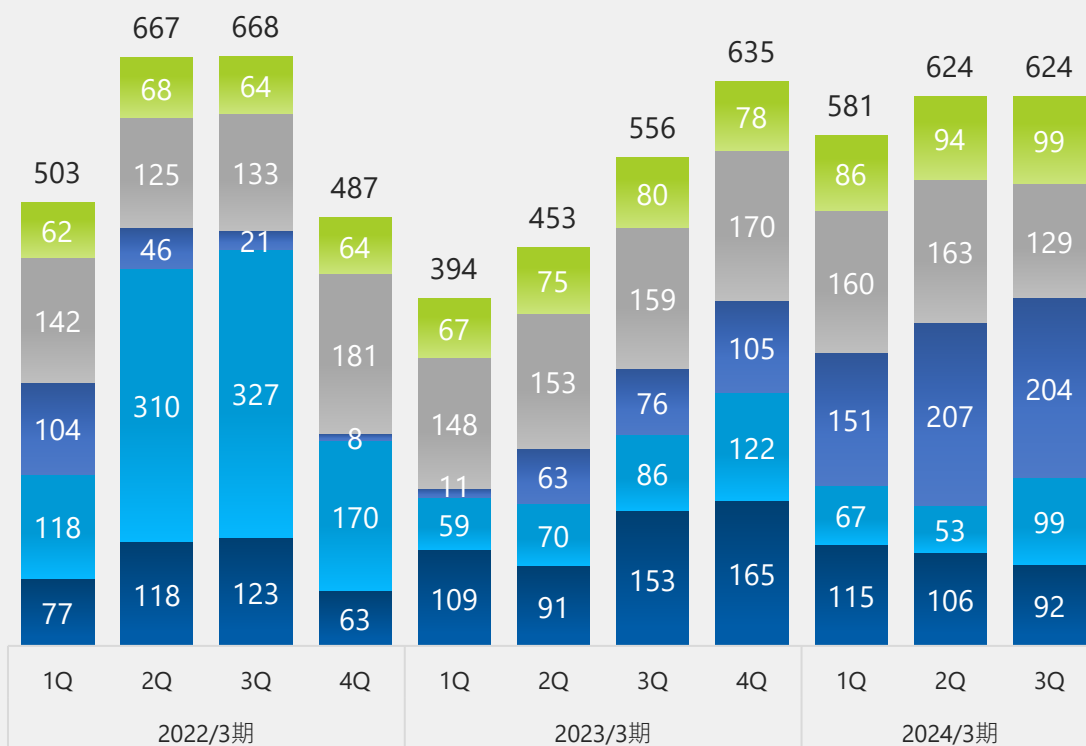


# ウェルネス事業 四半期推移

- ・ IFMC.製品 (Dr.Supporter、My.Supporter) の販売に引き続き注力。
- ・ IFMC.への選択と集中を継続し、当3Qにおいても営業黒字を継続。

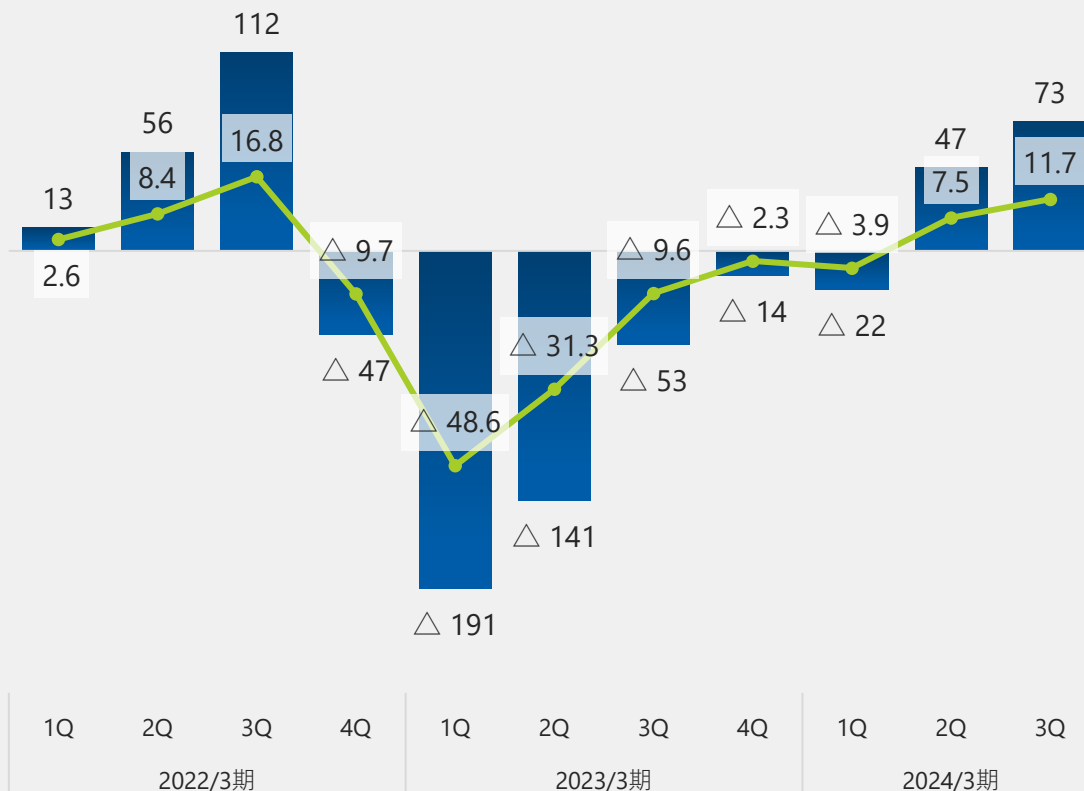
売上高 (単位: 百万円)

■ ソフトウェア    ■ 機材・消耗品    ■ IFMC.関連 (Dr.Supporter等)  
■ コンサルティング    ■ 請求代行    IFMC.WELLNESS



営業利益 (単位: 百万円・%)

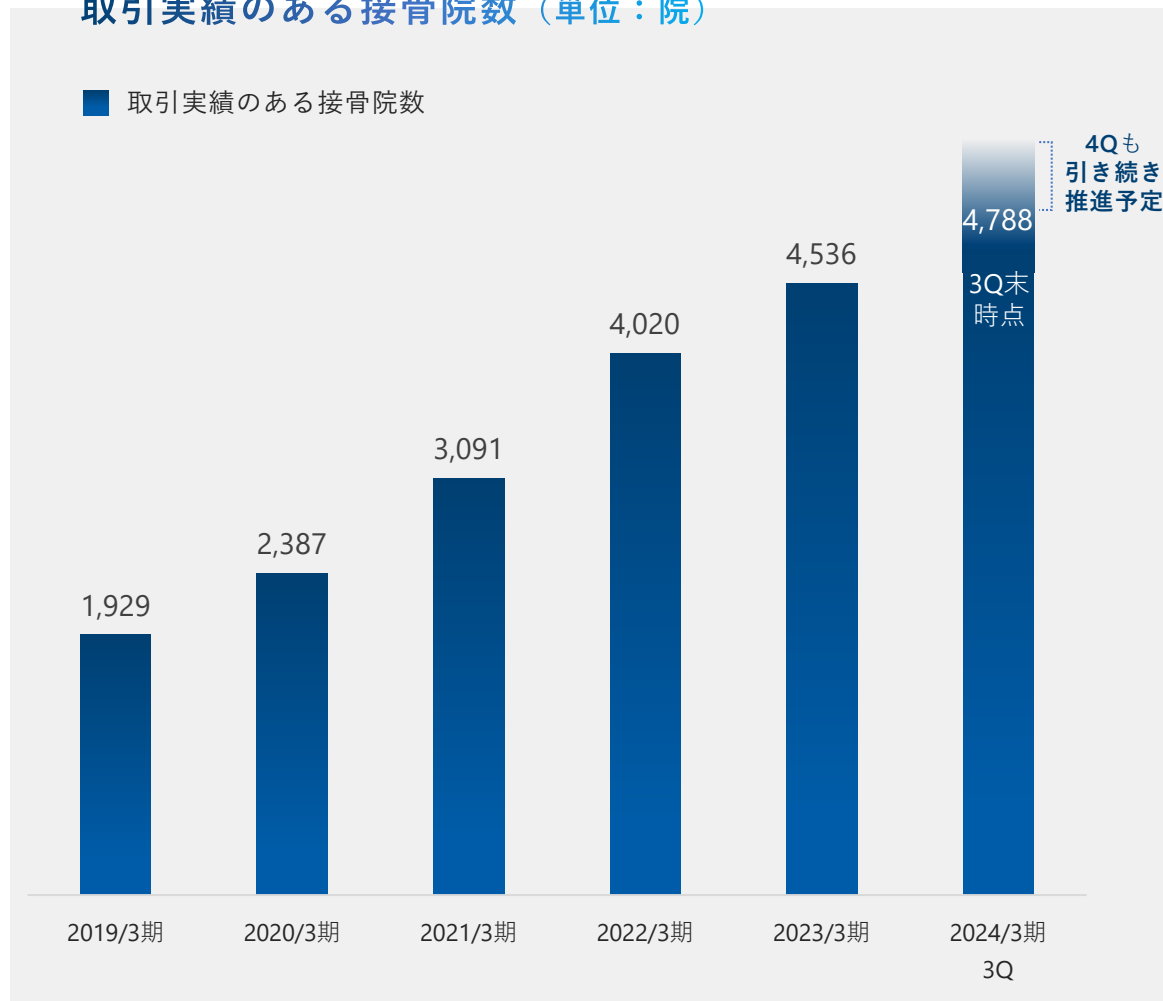
■ 営業利益    ● 営業利益率



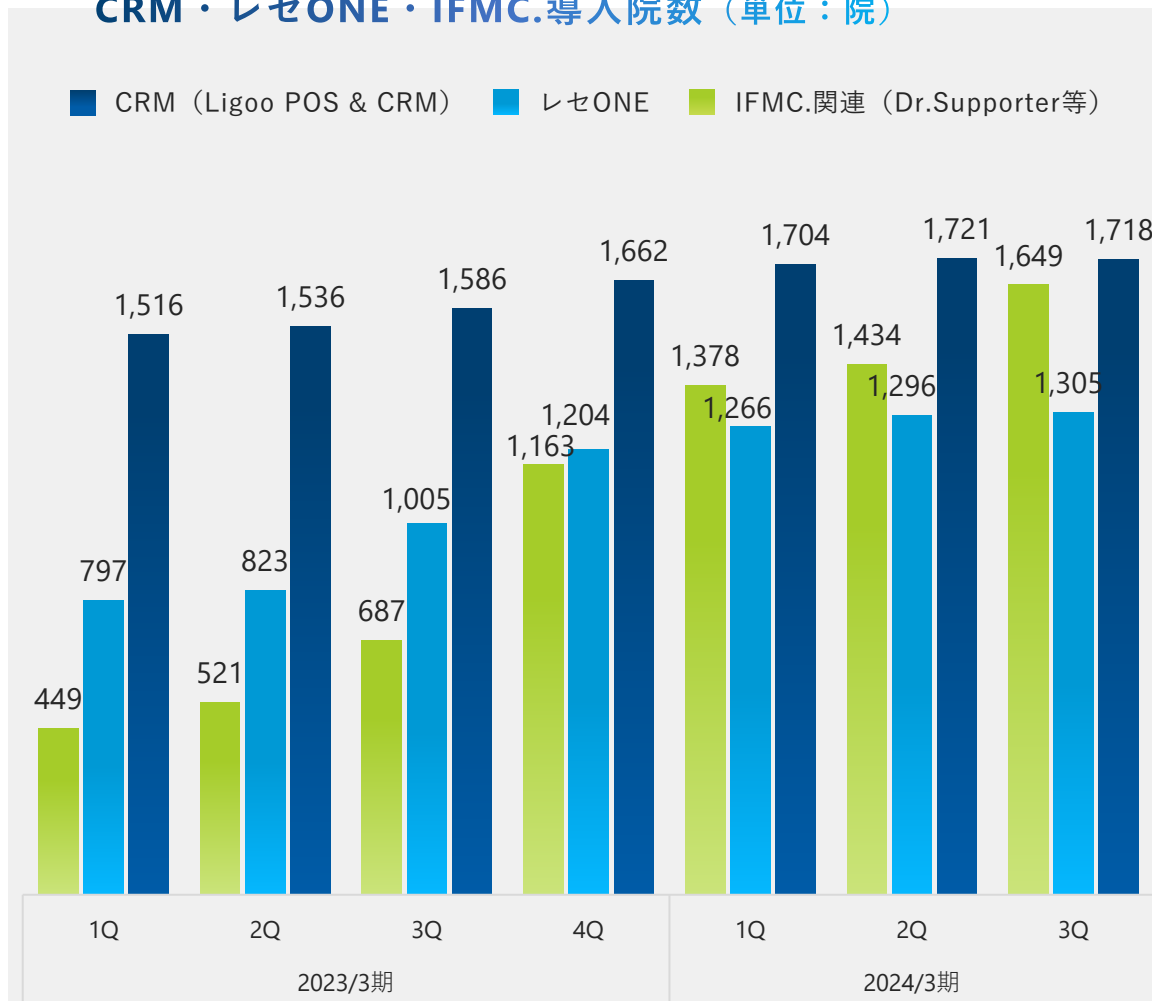
# ウェルネス事業 四半期KPI推移

- ・取引実績接骨院数の増加に向けた新規開拓は今後も注力する方針。
- ・下半期は、IFMC.導入院への販売フォローを強化する方針。

取引実績のある接骨院数 (単位: 院)



CRM・レセONE・IFMC.導入院数 (単位: 院)



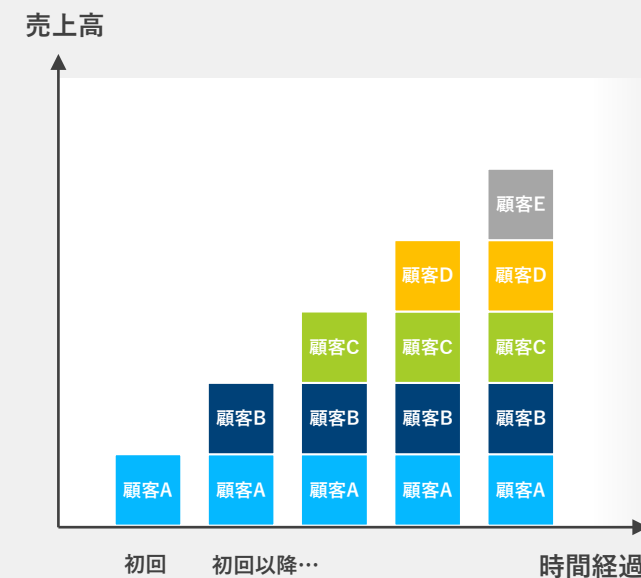
# IFMC.製品（Dr.Supporter、My.Supporter）の収益構造

当社は、IFMC.製品を使用した新メニュー（血流改善プログラム等）を取引先に導入し、利用者と導入院との継続的な関係性を構築することにより、当社と導入院のストック収益を強化します。

## Dr.Supporterの商流（BtoBtoC）



## 収益イメージ

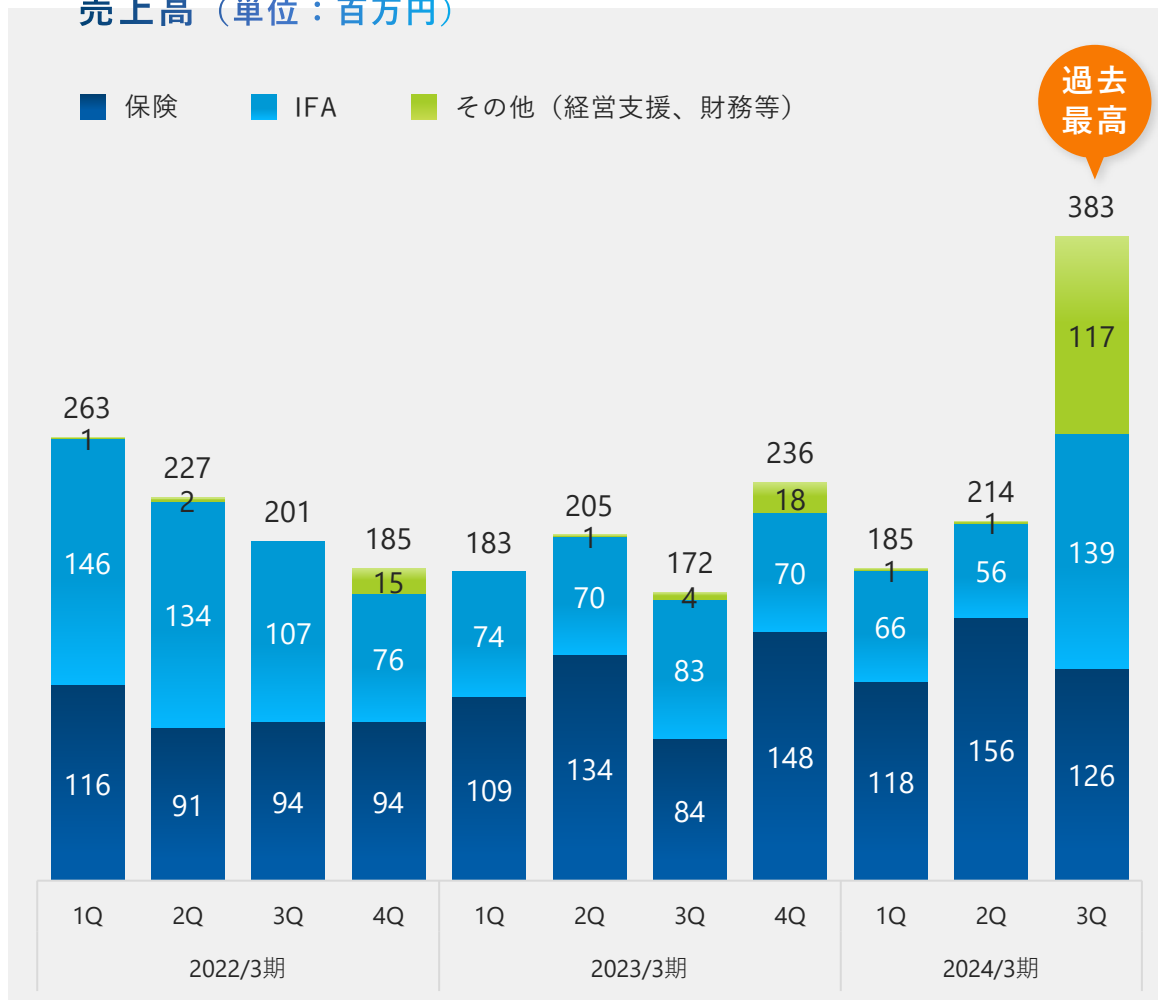


Dr.Supporterの各商材は消耗品のため  
ストック性の高い収益につながりやすい

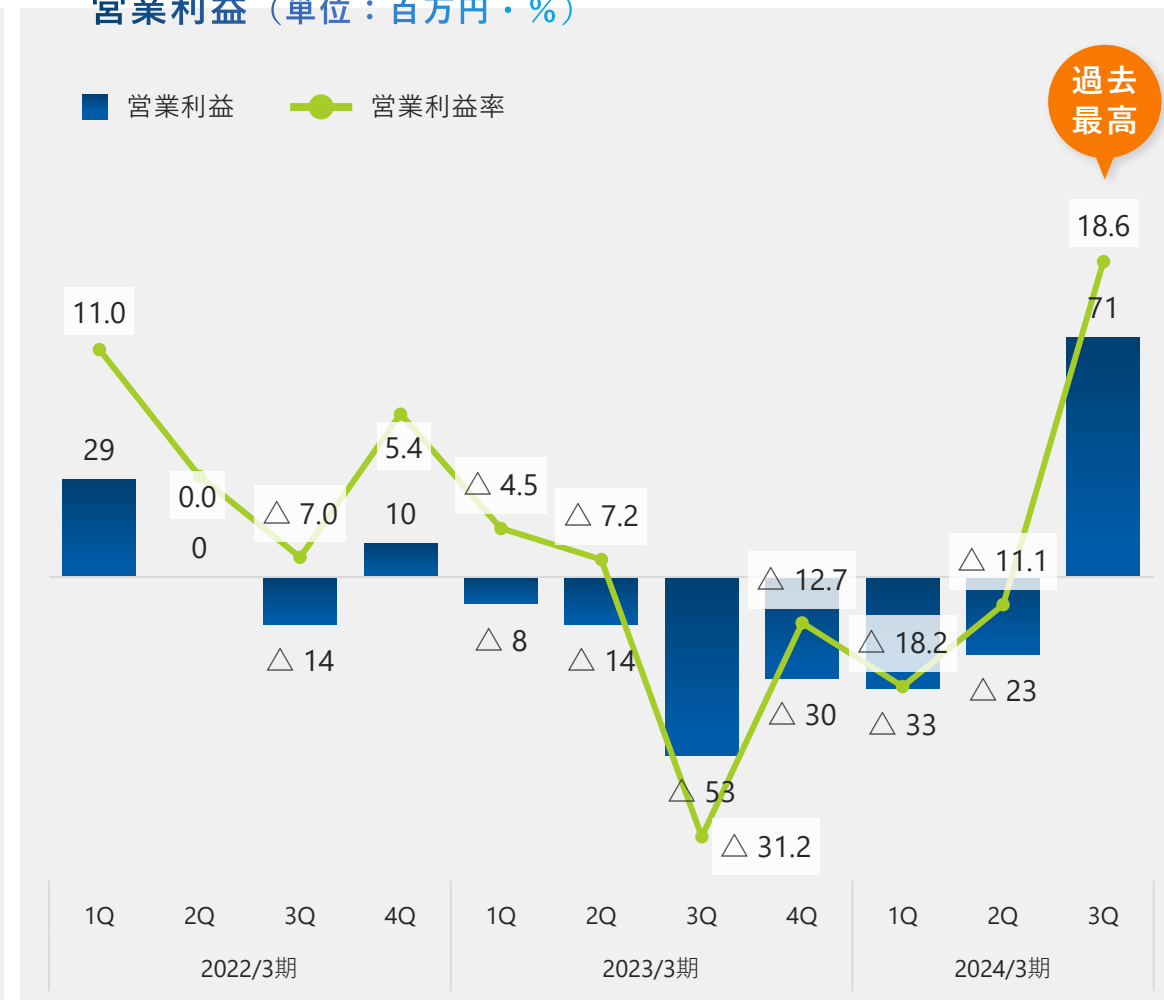
# ファイナンシャル事業 四半期推移

- ・ 当3Qで四半期単位で過去最高の売上を記録し、黒字に転換。
- ・ その他売上として、M&A仲介による手数料を計上。

売上高 (単位：百万円)



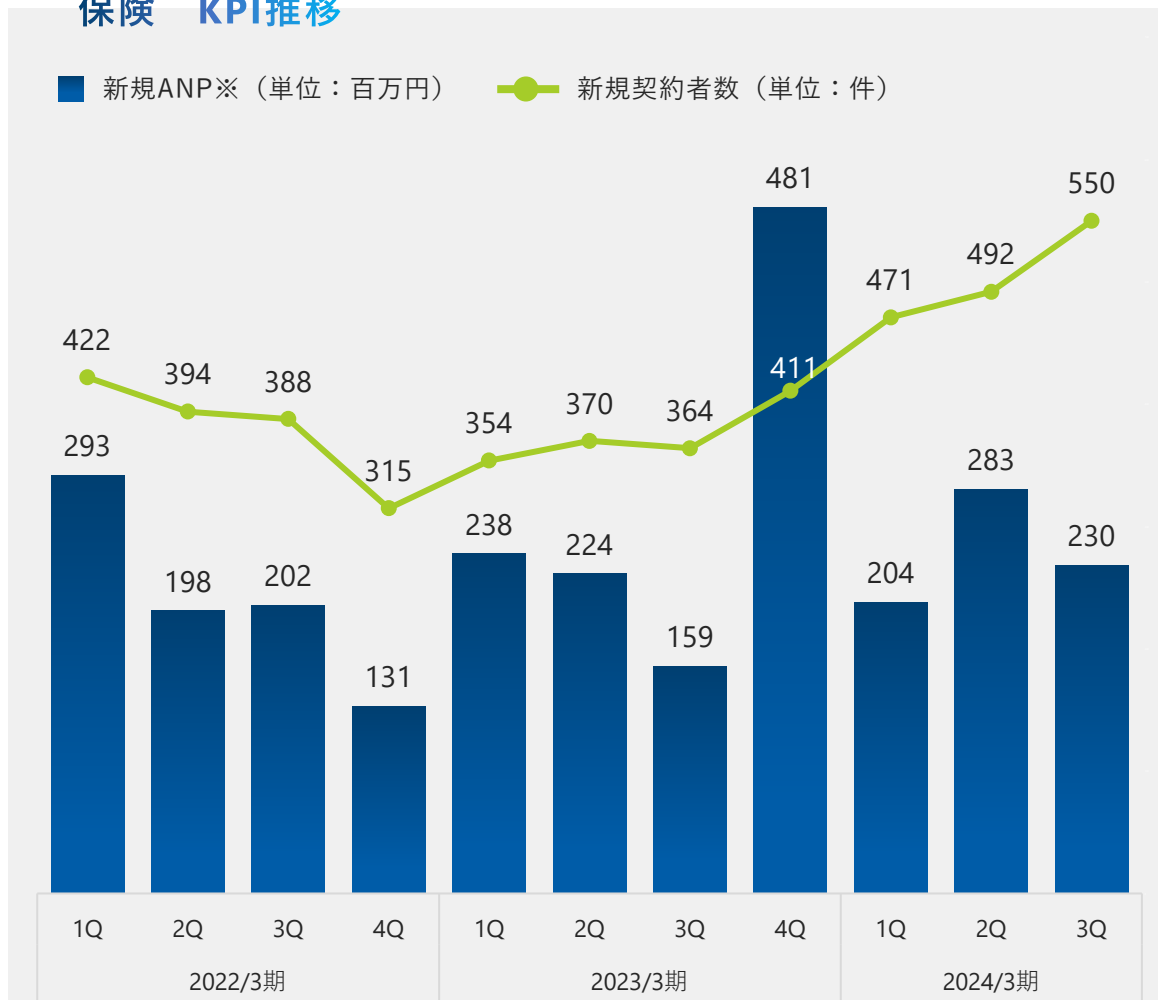
営業利益 (単位：百万円・%)



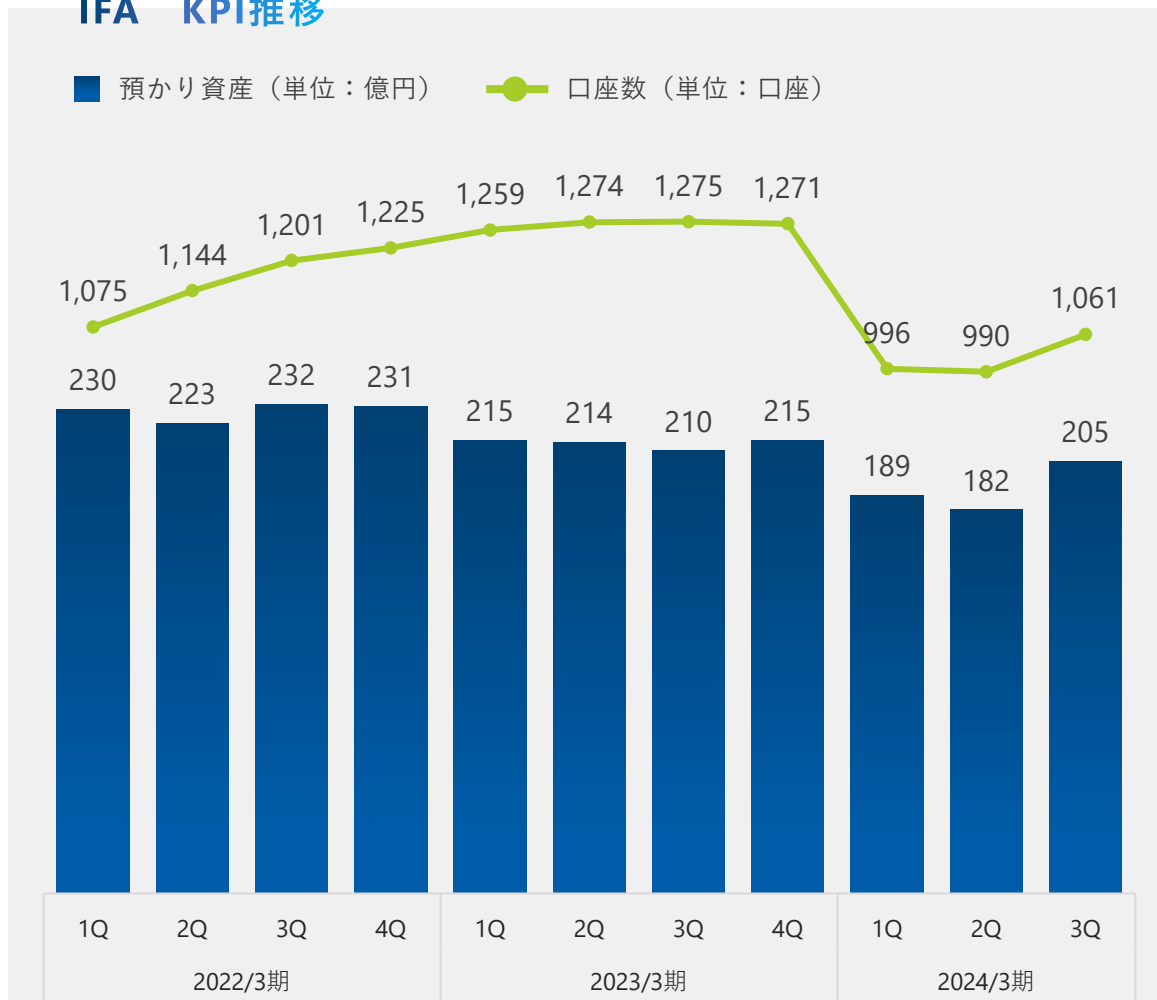
# ファイナンシャル事業 四半期KPI推移

- ・ 保険は、新規契約者数が安定的な推移を継続中。
- ・ IFAは、減少が続いていた口座数および預かり資産が増加。

## 保険 KPI推移



## IFA KPI推移



※ANP： お客様が支払う保険料のうち、年払いや一括払い等支払方法の違いを調整し、1年あたりの金額に換算した数値

# 連結 貸借対照表サマリー

- ・売上高および療養費早期支払サービスの増加により、売掛金および営業貸付金が増加。
- ・業績の黒字化により、純資産が回復。

(百万円)	2023/3期末	(%)	2024/3期 3Q末	(%)	増減額
流動資産	2,562	(76.0)	3,196	(80.6)	+634
現預金	1,172	(34.7)	1,094	(27.6)	△ 78
売掛金 営業貸付金	730	(21.6)	1,316	(33.2)	+586
その他	659	(19.5)	785	(19.8)	+126
固定資産	810	(24.0)	769	(19.4)	△ 41
総資産	3,373	(100.0)	3,966	(100.0)	+593
負債	3,020	(89.5)	3,395	(85.6)	+375
有利子負債	2,260	(67.0)	2,420	(61.0)	+160
その他	760	(22.5)	975	(24.6)	+214
純資産	353	(10.5)	571	(14.4)	+217
負債・純資産合計	3,373	(100.0)	3,966	(100.0)	+593

# 通期業績予想

	売上高	EBITDA	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期純利益
業績予想 2024年3月期 (百万円)	3,567	333	170	150	90
実績 2023年3月期 (百万円)	2,837	△258	△508	△527	△774
増減率	25.7%	-	-	-	-

2024/3期の黒字回復に向け、以下の取り組みを実践いたします。

- 前期の業績悪化の最大要因であった主要機材の仕入状況は回復見込（販売在庫の確保）。
- IFMC.関連商品（Dr.Supporter等の物販、IFMC.社における他社とのコラボ）の積極的な展開。
- 新たなコンサルティングメニューのリリースと新たなマーケット（歯科等の隣接業界）への展開。
- 2023/3期末に行った減損処理およびその他経費削減による販売管理費の圧縮。
- ファイナンシャル事業における安定収益の確保およびM&A仲介等の財務コンサルティングの強化。

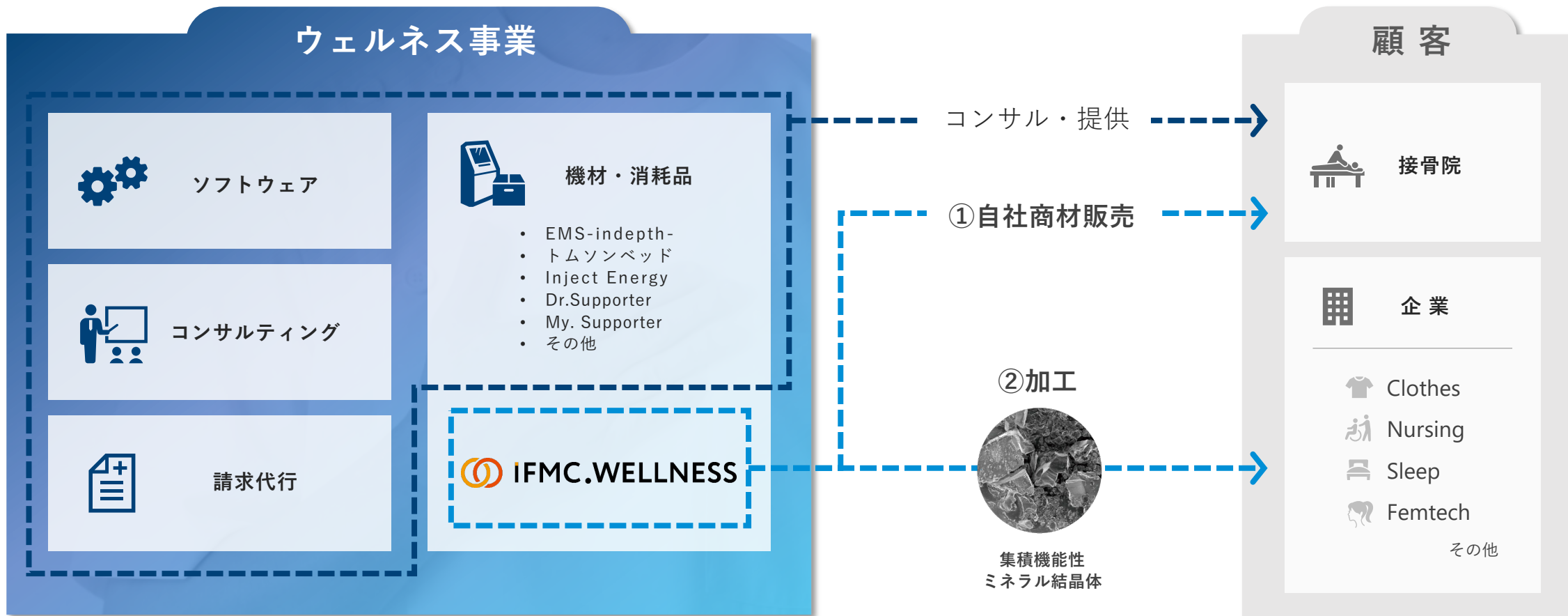
1. 決算概要 2024年3月期第3四半期
2. **IFMC.について**
3. 市場環境
4. Appendix



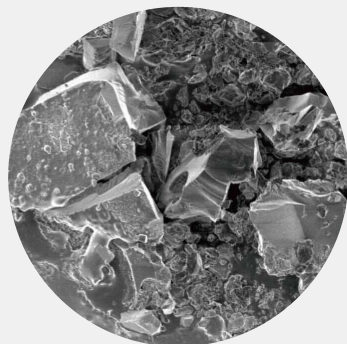
Contents



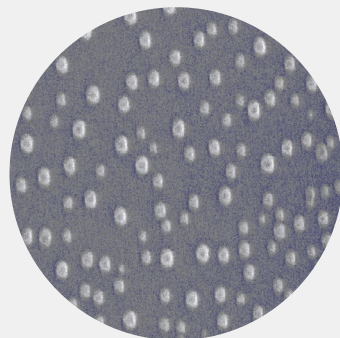
これまでは全国の接骨院が当社グループのメインの顧客層でしたが、これからはIFMC.を通じて幅広い顧客層に当社グループのサービスを提供し、誰もが心から豊かで前向きになる『Wellness Life』が溢れる社会を実現していきます。



## IFMC.(イフミック)とは、 集積機能性ミネラル結晶体の名称



マイクロメートル  
1/1,000mm



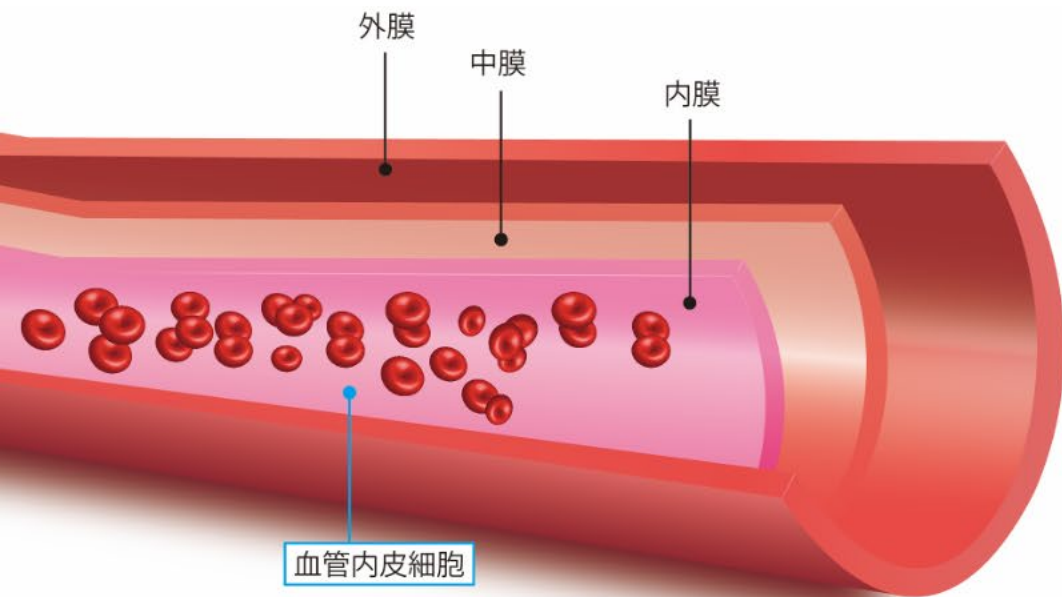
ナノメートル  
1/1,000,000mm

2017年7月6日にIFMC.を発見

温泉療法に着眼して製造した  
ナノメートルレベルの微小な結晶体

身体に近接させることで  
血管から一酸化窒素(NO)が拡散し、  
血管が拡張することによる血行促進効果が期待

「血中一酸化窒素 (NO) 量の増加」  
「血管拡張」「バランス能力向上」  
が認められ、2019年に特許を取得



## 一酸化窒素(NO)は血管内皮細胞から放出される血管拡張物質

- ✓ 血管の平滑筋を弛緩させ血流をスムーズにする
- ✓ 血管内のLDLコレステロールの沈着や酸化を防ぐ



血圧の安定



動脈硬化の予防



冷え性の改善



肩こりの改善



慢性疲労の改善



育毛効果



ED改善

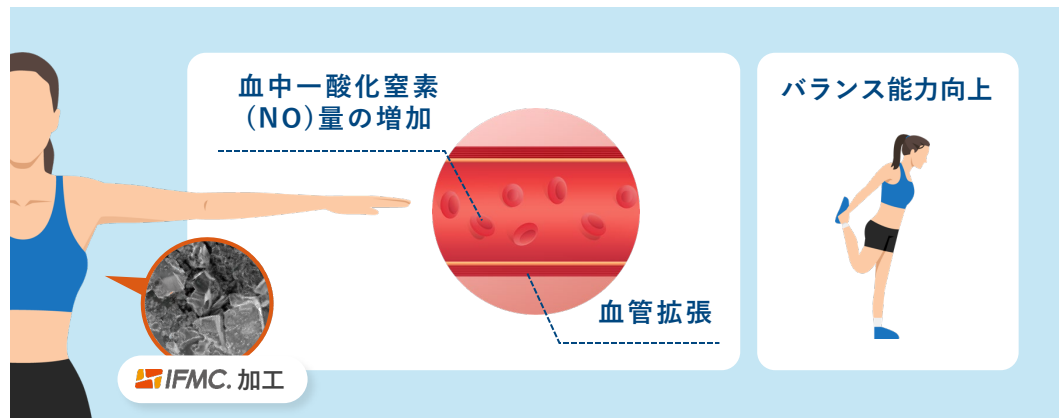


アンチエイジング効果



UCLA医学部薬理学教授  
イグナロ博士 / Dr. Louis J. Ignarro

1998年ノーベル生理学・医学賞を受賞。  
体内において、気体の一酸化窒素(NO)がさまざまな機能活性を持つことを解明した。



## EVIDENCE 01

### 特許を取得、一般医療機器に

薬のように服用や吸引または皮膚に直接塗布することなく、加工した繊維を身体に近接させることで血管が拡張し、血流の増加する要因が、一酸化窒素(NO)という物質の増産によるものであることが判明。2019年7月19日に「**血中一酸化窒素(NO)量の増加**」と「**血管拡張**」、「**バランス能力向上**」を証明し、特許を取得いたしました。

IFMC.加工した一部の商品を一一般医療機器として届け出。



## EVIDENCE 02

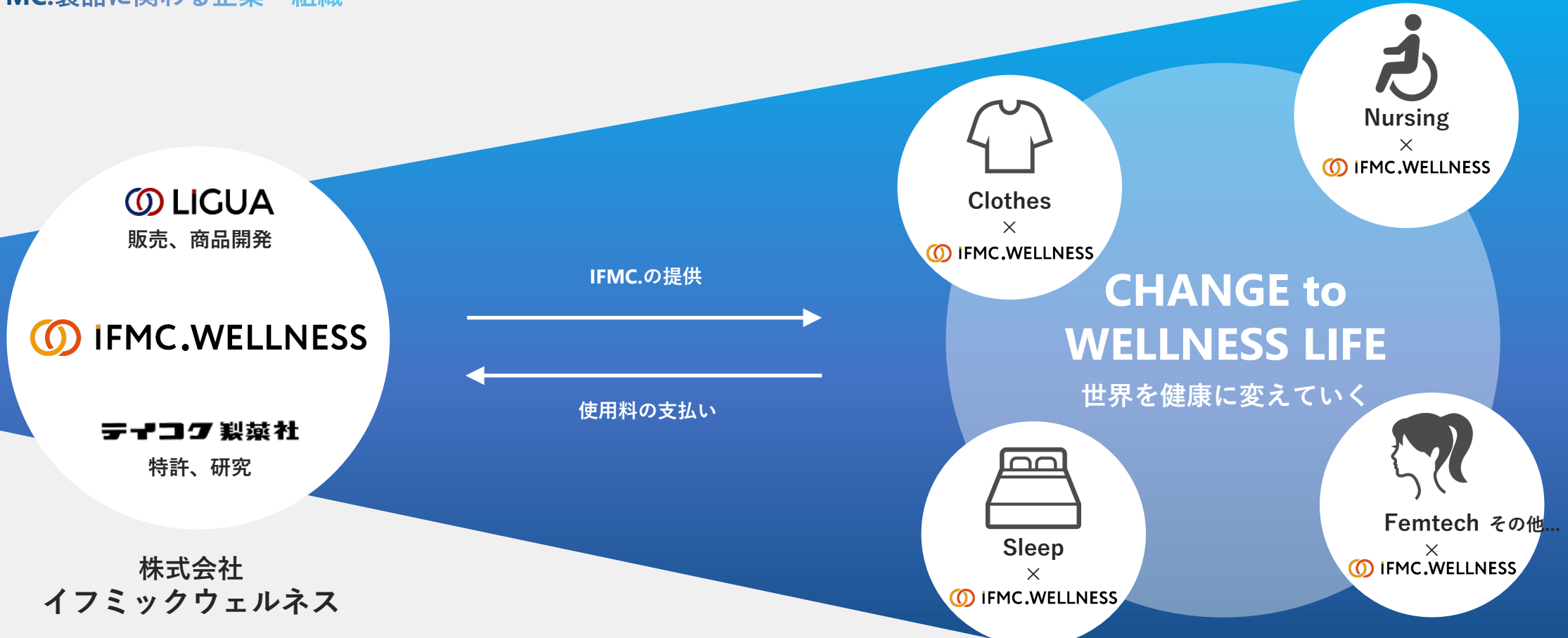
### 京都大学と共同研究を開始

温泉療法に着眼して開発した集積機能性ミネラル結晶体 (IFMC.) は、薬やサプリメントのように服用する必要がなく、特殊加工した繊維を身体に近づけることで血中の一酸化窒素 (NO) に作用し、血行促進等の様々な効果が期待できる物質です。

さらなるIFMC.の可能性を求め、2023年4月25日に**京都大学 大学院 生命科学研究所との共同研究**を開始いたしました。

“触れるだけ”で血行促進効果のあるIFMC. を様々な製品に加工することで、『世界を健康に変えていく』。

## IFMC.製品に関わる企業・組織



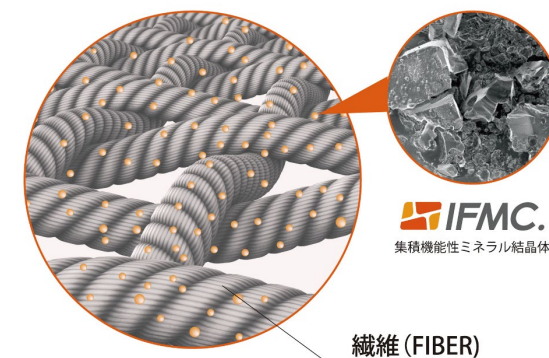
Collaboration 01

## 血行促進効果のある

## 機能性パジャマ発売

睡眠事業を営むRight Hand株式会社とのコラボを開始。  
第1弾のコラボレーションとして、心と身体を癒すラウンジウェアブランド「CHRAM(クラム)」より、血行促進効果のある機能性パジャマを発売しました。

最良の睡眠を実現するために作られた、デザインにも着心地にも妥協しない天然素材パジャマに当社の特許素材「IFMC.(イフミック：温泉由来のミネラル結晶体)」を加工。血行促進効果をプラスしました。2023年9月30日(土)より販売開始しました。



Collaboration 02

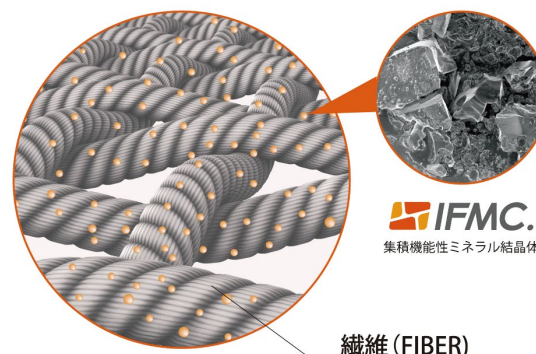
血行促進効果のある

ウェルネススーツ発売

高機能スーツのパイオニア、株式会社オアシスライフスタイルグループとウェルネススーツ「WWS Health +」を共同製作いたしました。

累計22万着を売り上げた大ヒットスーツ「WWS」に、特許素材「IFMC.(イフミック：温泉由来のミネラル結晶体)」を加工。血行促進効果をプラスしました。

2023年10月17日(火)より「Makuake」で先行販売を開始し、開始後3日で応援購入総額300万円を突破しました。



Collaboration 03

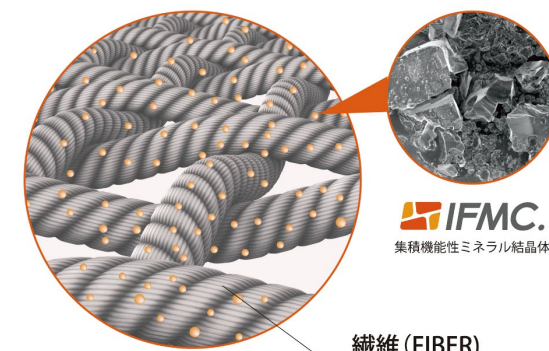
## 2024秋冬パリコレで

## コラボアイテム発表

世界的ファッションブランド「doublet(ダブルット)」のコラボレーションアイテムが2024年秋冬パリ・ファッションウィークにて発表されました。「THE CURE (≡治癒)」をテーマにしたコレクションに当社の特許素材「IFMC.(イフミック：温泉由来のミネラル結晶体)」を加工。コラボアイテムは全国のブランド取扱店舗にて今秋より販売開始予定です。

**doublet**  
STRANGEST COMFORT

2012年にブランド設立、2013年春夏展示会よりデビュー。「違和感のある日常着」をコンセプトに、ウェアからアクセサリーまでトータルアイテムを展開。





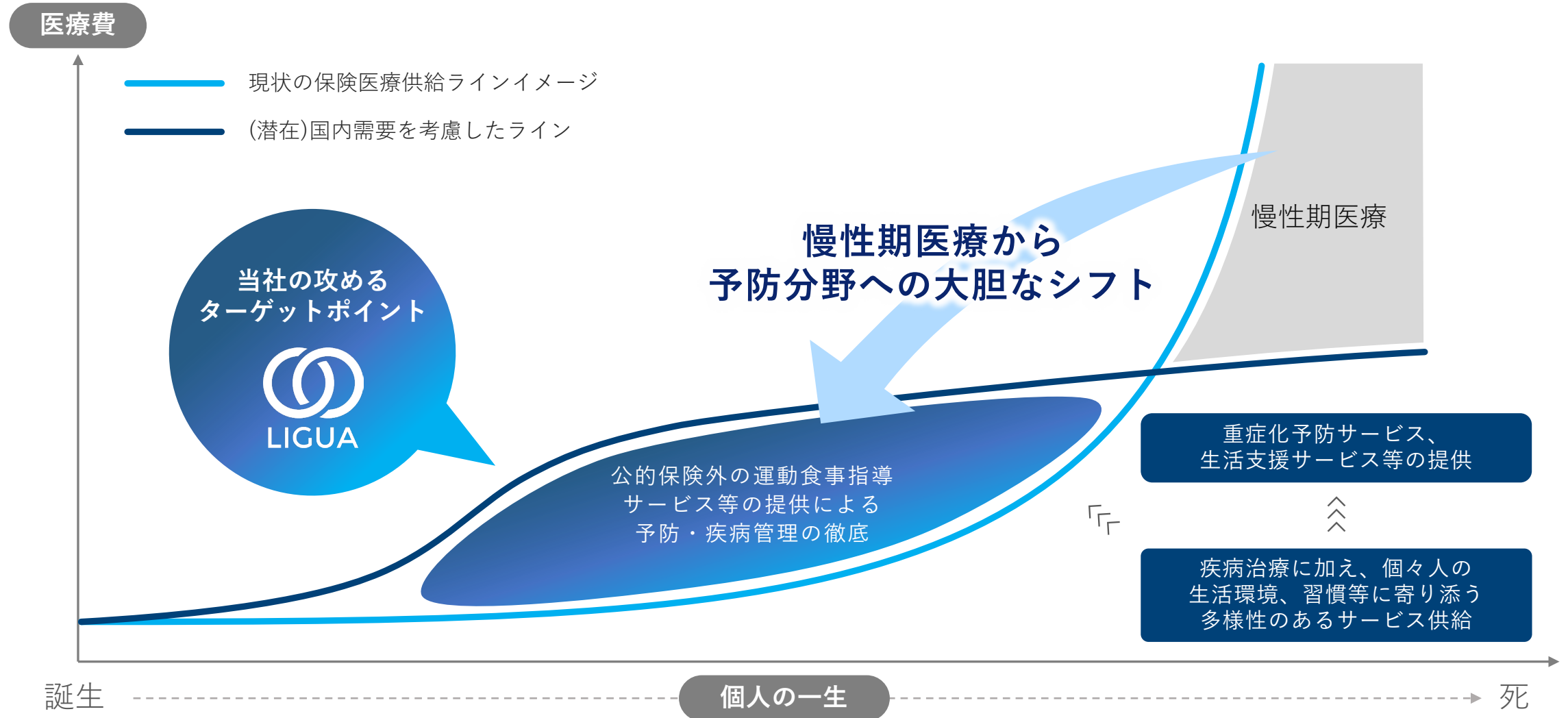
1. 決算概要 2024年3月期第3四半期
2. IFMC.について
- 3. 市場環境**
4. Appendix



**Contents**

# 予防分野への政策シフト

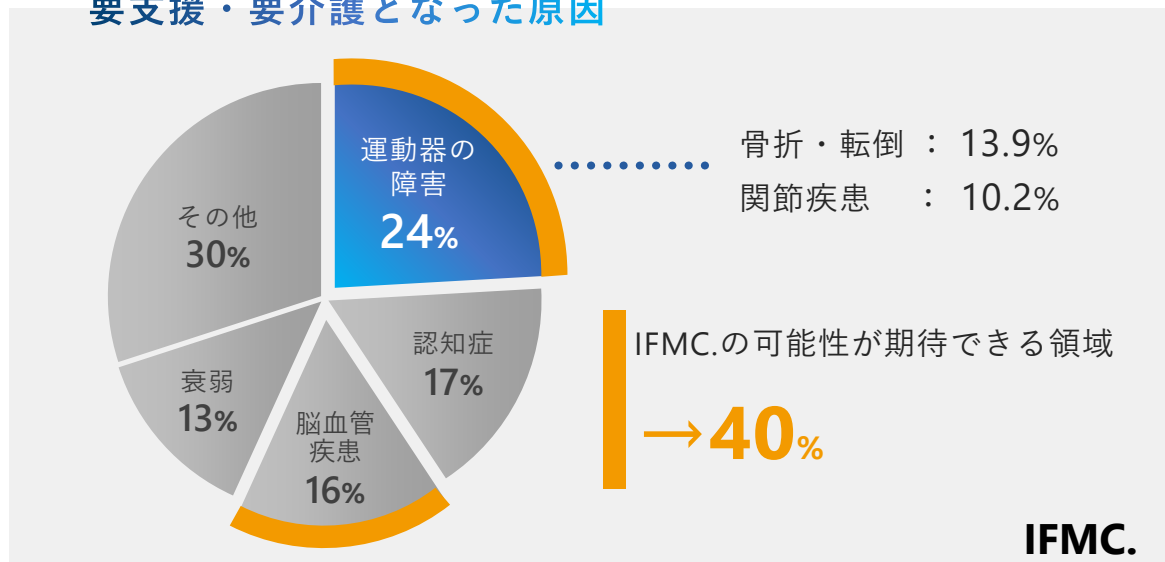
## ヘルスケアにおける日本の政策



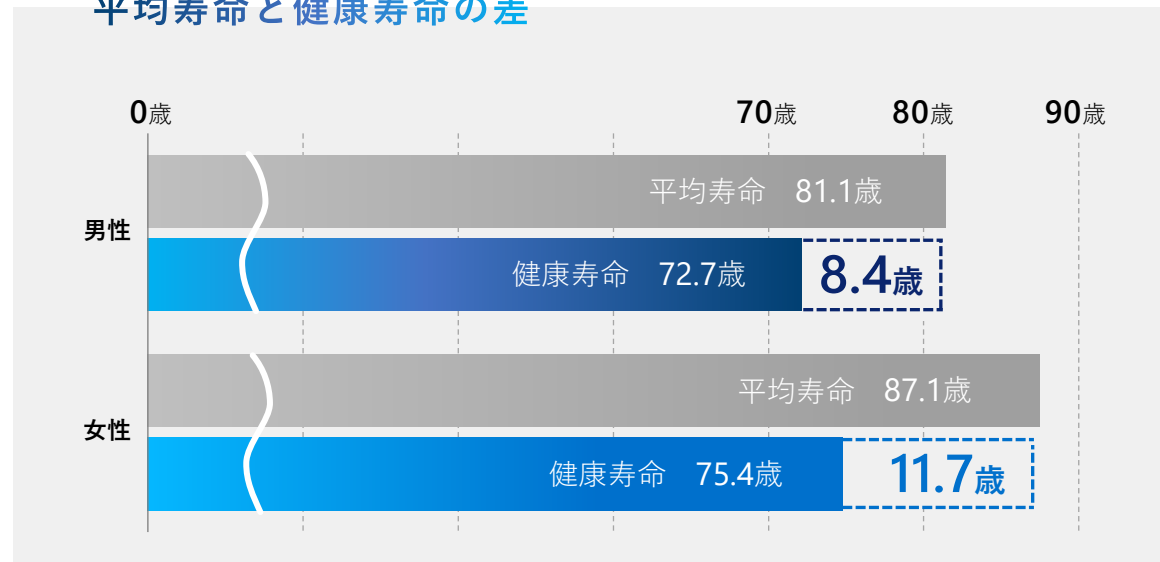
出所：経済産業省「日本の魅力を生かした新たな価値創造産業の創出に向けて」

# 予防分野の強化の重要性

## 要支援・要介護となった原因



## 平均寿命と健康寿命の差



出所：厚生労働省「令和4年簡易生命表の概況」「健康寿命の令和元年値について」「2022（令和4）年 国民生活基礎調査」※運動器の障害は「骨折・転倒」「関節疾患」の合計値

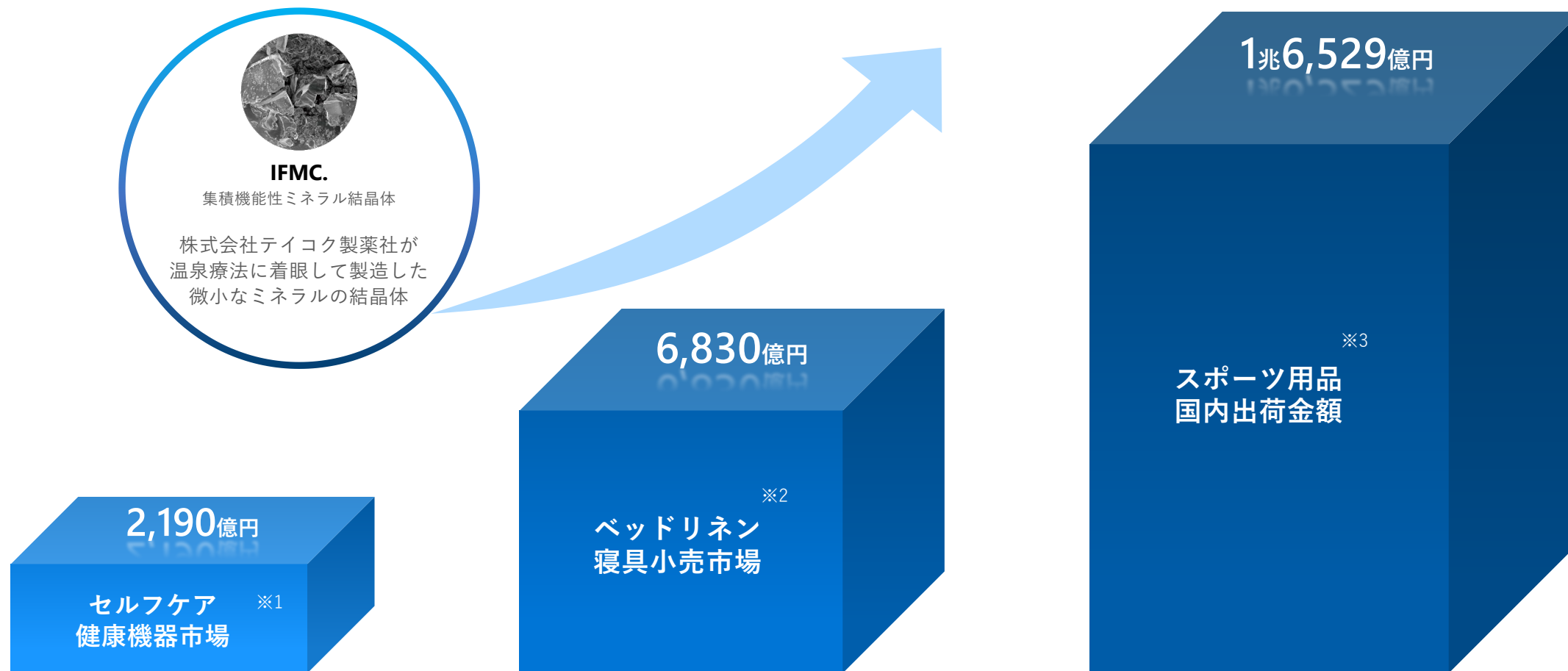
## 生涯医療費の年代区分

	生涯医療費	70歳未満	70歳以上
男女計	2,815万円	1,437万円 (51%)	1,378万円 (49%)
男性	2,727万円	1,459万円 (54%)	1,268万円 (46%)
女性	2,907万円	1,414万円 (49%)	1,493万円 (51%)

出所：厚生労働省「医療保険に関する基礎資料～令和3年度の医療費等の状況～」

# マーケットポテンシャル（IFMC.）

IFMC.（イフミック）は、生活基盤に隣接するマーケットに展開。  
大手企業が提供している製品にIFMC.効果をプラスし、幅広く展開する予定。



※1：矢野経済研究所「2019年版セルフケア健康機器の市場実態と将来展望」※2：矢野経済研究所「ホームファッションブランド2017」※3：矢野経済研究所「スポーツ用品市場に関する調査を実施（2023年）」

1. 決算概要 2024年3月期第3四半期
2. IFMC.について
3. 市場環境
4. **Appendix**



Contents

BRAND PURPOSE  
ブランドパーパス

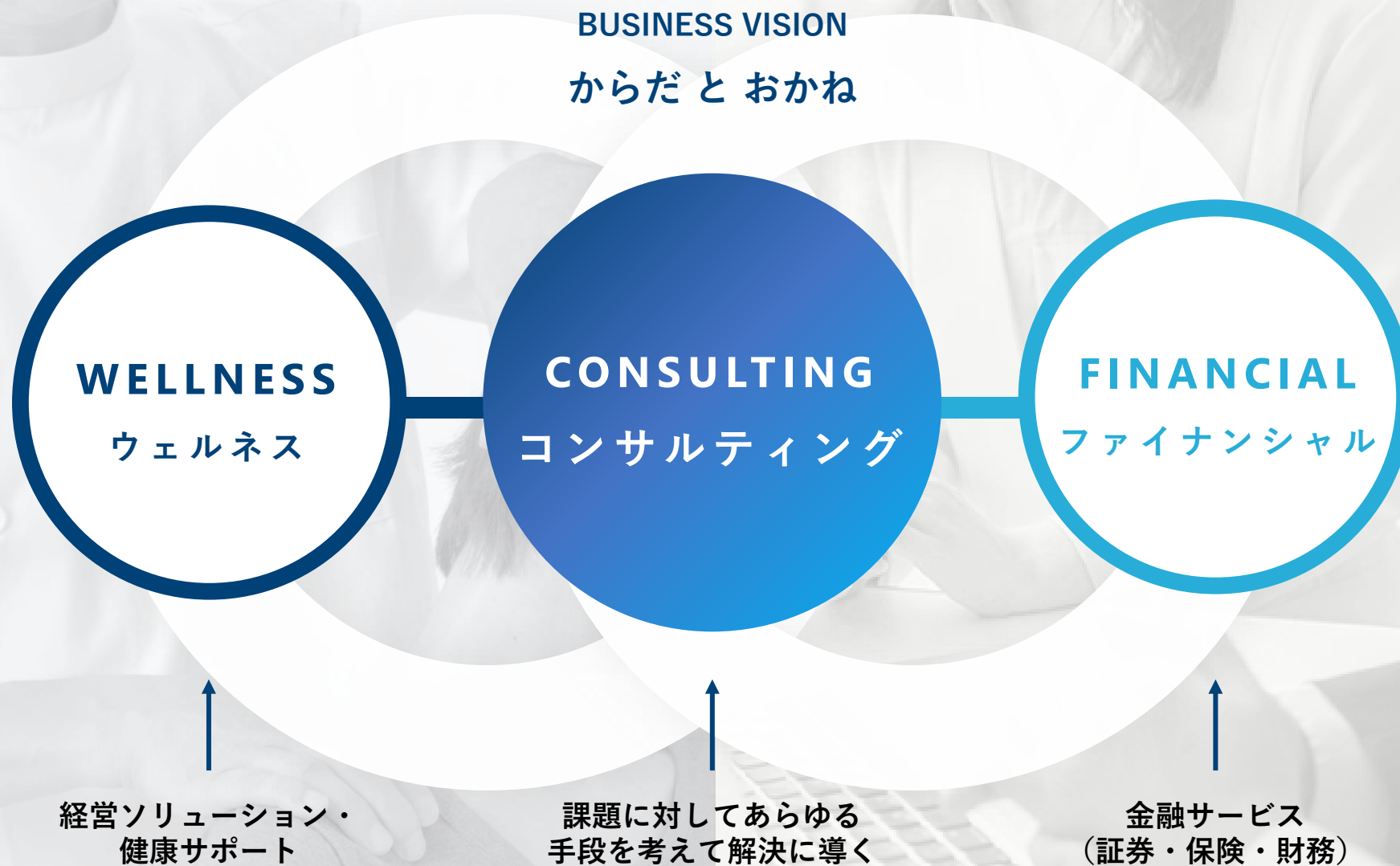
# DESIGNING WELLNESS LIFE

**人生から不安をなくし、生きるをサポートする。**

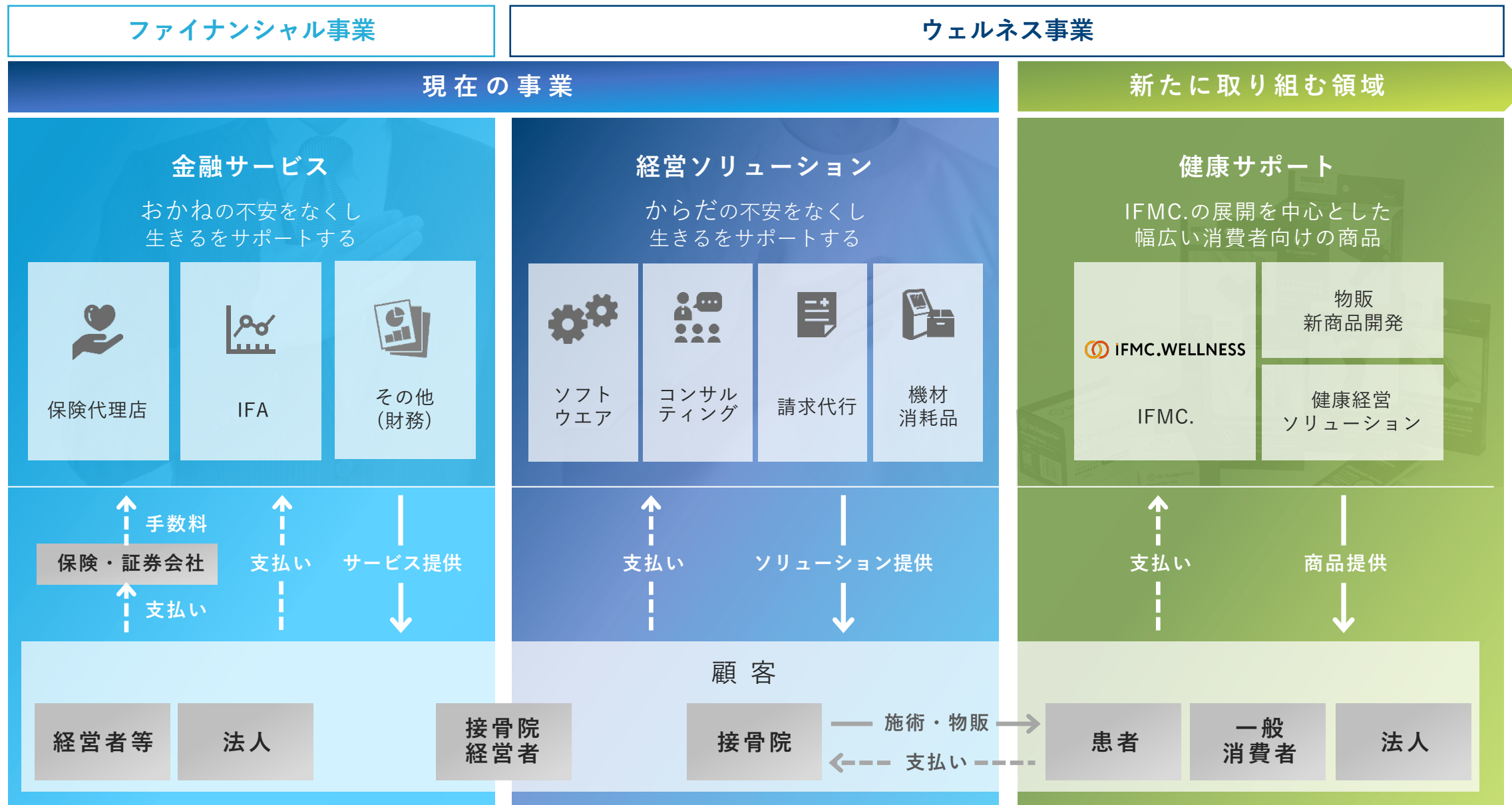
本当に健康である状態とは「からだ」と「おかね」の不安がなく、  
心から前向きになることだと私たちは考えます。

リグアグループは、予防医療と金融サービスの提供を事業の柱とし、  
「からだ」と「おかね」という人生における2つの大きな“不安”をなくしていくことで、  
誰もが心から豊かで前向きになる“Wellness Life”が溢れる社会を実現していきます。

# 「生きる」をサポートするコンサルティング会社



# 事業系統図

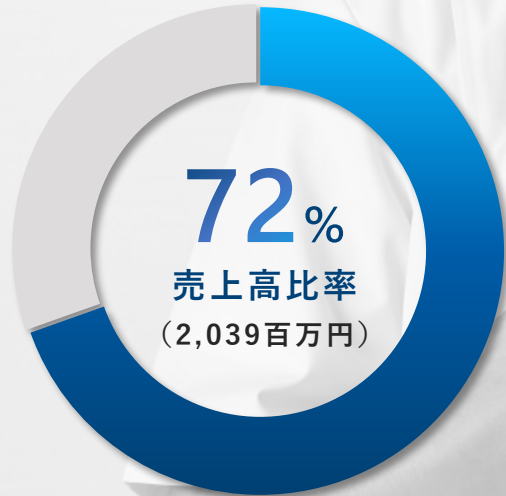




# 事業内容

IFMC.製品を活用したサービス・コンサルティングを提供するウェルネス事業と生命保険、損害保険、各種金融商品を提案するファイナンシャル事業を展開。

## ウェルネス事業



- LIGUA
- HEALTH CARE FIT
- HIGOONE
- 日本ソフトウェア販売
- IFMC.WELLNESS

からだの不安をなくし、  
生きるをサポートする。

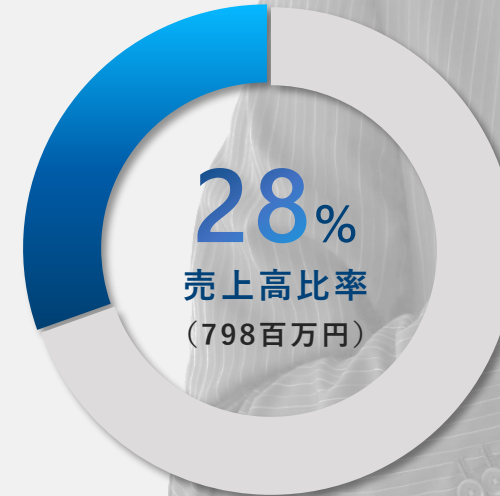
ソフトウェア

機材・消耗品

コンサルティング

請求代行

## ファイナンシャル事業



- FP DESIGN

おかねの不安をなくし、  
生きるをサポートする。

保険代理店

IFA

その他(財務)

## 2. 自社商品の開発 (Dr.Supporter)

血行促進や疲労回復、体幹安定や神経痛の緩和等の使用効果が期待できる製品を開発。  
身に着けるだけで効果があるため、普段の生活に手軽に取り入れることが可能。



### 製品一覧



ぬくもりつづく  
足癒ソックス



リカバリーパッチ



リカバリーテープ



リカバリーカラーバンド  
シリコンチャーム



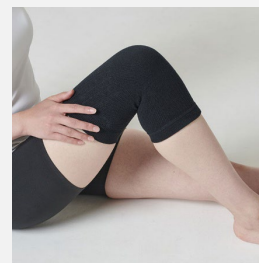
リカバリーカラーバンド  
ロゴチャーム



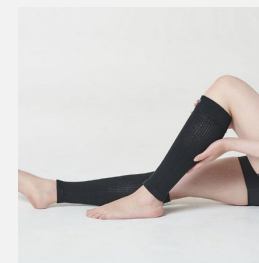
リカバリーサポーター  
手首用



リカバリーサポーター  
ひじ用



リカバリーサポーター  
ひざ用



リカバリーサポーター  
ふくらはぎ用



リカバリーサポーター  
足首用

## 2. 自社商品の開発（My.Supporter）

IFMC.の効果を日常に取り入れやすいよう、どんなときでも手軽に、気軽にケアができる製品ラインナップ。  
ボディケアからフェイスクアまで、老若男女どなたでも使える製品。



### 製品一覧



デコルテクリーム



ナイトパック



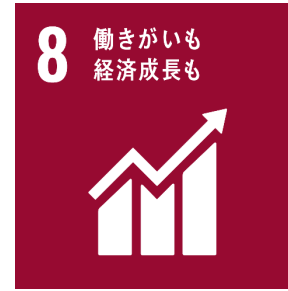
ヘアエッセンス



ミネラルケアクリーム

リグアグループは、誰もが心から豊かで前向きになる“Wellness Life”が溢れる社会を実現していきます。

## SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



## 人生から不安をなくし、生きるをサポートする。

- 温泉由来の100%ミネラル『IFMC.（イフミック）』技術を通じて、『世界を健康に変えていく』。
- ヘルスケア業界への支援を通じて、“Wellness Life”が溢れる社会を実現する。
- IFMC.加工を施した『環境芝』の普及を通じて、ヒートアイランド現象等の社会課題の解決に寄与する。
- 社内の取り組み「お米プロジェクト」を通じて、日本の農業支援とグループ従業員に「食の健康」を提供する。

# 2024年3月期 TOPICS・ハイライト (2024年1月31日時点)

リリース日	該当四半期	タイトル	詳細
1月25日	4Q	IFMC.が世界的ファッションブランドdoubletとコラボ	P24
10月31日	3Q	イフミックウェルネス社が国内最大級のファッション展「ファッションワールド東京」に出展いたしました	<a href="#">別途資料</a>
10月30日	3Q	血行促進でビジネスマンを支えるウェルネススーツ「WWS Health+」の先行販売を開始	P23
10月30日	2Q	株式会社イフミックウェルネスとRight Hand株式会社との業務提携に関するお知らせ	P22
8月25日	2Q	連結子会社の商号変更に関するお知らせ	<a href="#">別途資料</a>
8月8日	2Q	報告セグメントの名称変更に関するお知らせ	<a href="#">別途資料</a>
7月11日	2Q	譲渡制限付株式報酬としての新株式発行に関するお知らせ	<a href="#">別途資料</a>
7月7日	2Q	<b>【IFMC.】</b> 3社コラボ商品 期間限定販売のお知らせ	<a href="#">別途資料</a>
4月25日	1Q	京都大学との共同研究開始に関するお知らせ	<a href="#">別途資料</a>
4月14日	1Q	健康経営優良法人2023（中小規模法人部門）に3年連続認定	<a href="#">別途資料</a>
4月13日	1Q	国内最大級のアパレル業界向け展示会に初出展	<a href="#">別途資料</a>



## 将来見通しに関する注意事項

本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements)を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。

それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合でも、当社は本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正を行う義務を負うものではありません。

IRに関するお問い合わせ <https://ligua.jp/contact/>